

# 2023年1月24日 CCJ Project Zoom 勉強会

2023年1月24日 8pm~10pm、Zoom で CCJ Project の Zoom 勉強会が参加 28 名で行われ、その要旨は以下の通り。

| 1

## 1. CCJ Project 基本構想

CCJ (Care Community Japan) の Zoom ミーティングに初参加の方も複数居られた為、冒頭 CCJ プロジェクトの基本構想を説明。

英国在住の日本人は、高齢化と共に英語でのコミュニケーション能力の低下・日本食・日本文化の恋しさが避けられず、その様な方々で介護サービスを必要とする人を対象に日本的な真心のこもったケアホームを作りたい。

場所はロンドン郊外 M25 周辺、施設の規模は経営効率の観点から 65 室、費用見積もりは当初は £ 10m~£ 12m で有ったが最新で £ 15m(約 24 億円)、資金調達は出資・債券・寄付、完成時期は資金調達の目途が立ってから約 6~7 年後。

在英日本大使館の情報によると、英国には留学生や企業から派遣された短期駐在者・その家族を除いて、約 2 万 5 千人の日本人永住者が居り、その内 70 歳以上の高齢者は約 3 千 5 百人、その 18%即ち 5~6 百人は自立した生活が困難で、何らかの生活支援・介護が必要と推定され、それらの方々は今現在ケアホーム・訪問介護・家族介護でのサービスを受けていると思われる。

英国でのケアホームは、ロンドン近郊で£1,500~£2,000/週、£7 万~£10 万/年と高額で有るが、英国の持ち家所有率は約 7 割で、多くの方は十分な金融資産が無ければ自宅を売却してケアホームの入居費用に充てていると思われる。Care Home への入居は本人の希望と言うより、周りの人が介護が大変で Care Home に入居させると言うケースが多いのではないかと。

## 2. 委員会でのこれまでの議論

- \* 65 部屋は無理なのでは？
- \* ケアホームの経営は難しい？
- \* 地域のケアホームに入居出来なければ入居したくない、させたくない？
- \* 訪問ケアがベター？
- \* 各地域に 4~5 人が入居できるのが有れば？
- \* ケアホームと言うよりコミュニティ作りが先？
- \* 建設資金はどこから来るの？

### 3. Community 作り

そこで、ケアホーム・訪問介護・家族介護に続く第4のサービス Community 作りを優先してはとの提案を、5～6人のグループに分かれて議論

Community 作りとは、IT弱者の救済、地域密着型見守り、孤独者のケア、食事会・お茶会・自宅訪問、（その様な活動は既にJA福祉部が行なっており、CCJから一緒に活動しようというコラボの提案をしたが、JAの資金が目当てではと勘ぐられ断られた）、ロンドン市内・周辺はJAが活動しており、CCJはロンドン以外の地方の日本人を対象としては？ CCJメンバーの居住地の把握（Post Code）、CCJの活動・Website・Newsletterの周知、Charity Statusを取るための活動実績の積み上げ、次の行動

| 2

### 4. 意見交換

\* CCJ 会費徴収案（£10～15？ £50？）は？ 提供するサービスは高齢者向けに遺言書、日英の各種制度、英国の日本人専門家（弁護士、税理士、ファイナンシャルアドバイザー等）の情報提供

\* Care Home の Carer 不足問題は深刻

\* これまでの様なボランティアとしての活動では無く、会社組織を作る必要が有るのでは？

\* 在英日系企業・日本のケアホーム事業者へのアプローチ、勉強会より一つ一つ実行していく事が大事では？

\* CCJ プロジェクトは、3名役員（飯塚忠治さん・田口晴恵さん・Oakley 千春さん）、5名コアメンバー、計8名

\* 何時迄もボランティア活動では無く、資金を集めて正式に会社組織として登録し、コミットさせるべきでは？（必要資金は£20万～£30万？）

\* 委員会の討議内容も議事録を公開して情報共有し、皆さんのCCJプロジェクトに対する理解を深めては？

委員会は参加者の皆さんの意見を参考にして、今後の対応を検討する事とした。

以上